



第97回 海原会総会 ご案内

日時 平成30年
6月2日(土)
午後3時(午後2時受付開始)

場所 海城学園講堂

会費 3,000円 但し学生1,000円 新会員は無料

会費は当日現金にてお支払いください。

総会後カフェテリアにて懇親会を行います
お誘い合わせてご参加ください

総会では毎年学園を卒業してから20年以上の方々に記念品を贈呈しております この機会に同期会などお声掛け戴き総会にご参加ください

祝卒年表彰の対象者

- 祝卒業60年…昭和33年卒 ■祝卒業30年…昭和63年卒
- 祝卒業50年…昭和43年卒 ■祝卒業20年…平成10年卒
- 祝卒業40年…昭和53年卒

同封の返信はがきにて**5月21日(月)**までに
出欠をお知らせください

海原会総会・懇親会の季節が今年もやってまいりました。お陰さまで近年、海原会の活動に対する同窓生の関心が高まっております。総会の参加者も年々増えております。いまや300名近い皆さまの参加をいただいております。会場となる講堂、カフェテリアが満杯になるという状態が続いております。しかも皆さまご承知のように旧世代の私どもには考えられないほどの優秀な後輩たちが毎年新たなメンバーとして海原会に加わっております。その若い世代による新たな交流や活動も盛んになっておりまして、海原会の将来は益々安泰と申しましょう。さらなる発展が期待されるという嬉しい状況が続いております。

前どころは上手いといっているのか」とうらやましがられています。他校の話を伺うと海城のように毎年300人も同窓生が集まると総会を開くようなところはないようです。しかも100歳近い大先輩から今年卒業した若い人まで一堂に集まって一日を過ごすなどということは信じられないようなのです。そんな他校の状況を見聞しますとこれは手前味噌でもなんでもなく私たちの海原会という存在はなんと稀少かつ貴重な存在であるかというのを再認識させられます。

用しないわけですが、敢えて理由をあげるとつは男子校の絆、さらに大きいのは歴史の重みではないかと申しております。海城学園は今年で創設127年、その同窓会としての海原会は、創られたのが大正10年(1921年)ですから、今年で創立97年となります。この間現在に至るまでには様々な困難や問題もあったと思いますが、各時代時代の卒業生が海原会という名前のもとに集まって同窓会活動を引き継いで営々と築きあげたその成果が現在の姿になっているということでもあります。とりわけ今日に至るまでぶれない確固たる学園の

海原会発足100周年に向けて

海原会会長 徳光和夫

建学の精神、教育方針のもとで育ったという同窓生意識が海原会も強くしたと言えるのではないのでしょうか。その意味ではしっかりと学校経営を続けてこられた理事長はじめ教職員、学校関係者の皆さまの並々ならぬご努力があったからこそ感謝しなければなりません。さてこのような海原会も3年後には創立100周年という記念すべき節目を迎えます。何か海原会にとってもまた同時に100周年を迎える学園にとつてもまた記念になることができればと思っております。ぜひ皆さま今年の総会に出席いただいて、イベントなどの企画や様々なアイデア、ご要望を海原会にご提示いただければと思っております。皆さまとともに100周年を祝い、その先さらに元気で長生きして皆さま一緒に海原会を盛り上げていければと願っております。総会でお会いしましょう。

第7回海原会ゴルフ大会 埼玉で開催



参加者募集

開催要項

ゴルフコース **飯能くすの樹カントリー倶楽部**
〒357-0066 埼玉県飯能市大字小岩井350
Tel:042(972)1177

開催日時 **10月12日(金) 08:10集合**

会費 プレー費 **16,500円**
参加費 **4,000円**

高齢者割引あり 受付で身分証明書提示

競技 新ペリア方式
クラブバス あり(06:50池袋駅発西武線特急と接続)

申し込み方法

出欠はがき 会報に同封されている総会ハガキの下部に
ゴルフ大会参加申し込み欄があります。

FAX 03(6233)9641 (海原会ゴルフ会事務局 宛)

メール 海原会ホームページの「海原会へのお問い合わせ・ご連絡」
から海原会ゴルフ会事務局宛へ送ってください
<http://www.unabarakai.jp>

申し込み締め切り 7月末日

茨城・栃木・千葉と2年おきに会場を変え、今年は皆様から要望の多かった埼玉県のゴルフ場での開催です。池袋から特急とクラブバスで60分と電車の便も抜群。18組72名を定員に参加者を募集いたします。
幅広い世代の交流の場としてすっかり定着した本大会。各賞品も充実。是非ご参加ください！
(大会実行委員長 S47年卒 石黒淳一郎)

9月15日(土)・16日(日)の2日間



ゆかりの場所や
現存する旧校門
(武家屋敷門)

見学会

**行ってみたいと思う？
一緒に行きましよう！**

海原会見学会は今年で7回目を迎えます。お陰さまで毎回多数の方に参加戴き有難うございます。

見学会はOB同窓の方々と交流し、しかも、ご同伴はもとより、家族ぐるみのご参加のかたちを作り、共に乗り、共に歩き、共に見て、共に歓談し食事をして有意義に過ごすことができる団体です。どうぞ、どなたでも参加できますので一緒に行きましよう！

昨年はずっと足を延ばして「房総里山トロッコ列車の旅」を開催し、総勢28名の参加を頂き、楽しい1日を過ごしました。有難うございました。



今年は身近な所を計画しています。その一つに3年前にご好評頂いた江戸東京クルージング。屋形船で隅田川・神田川界隈を見学します。今度は隅田川から小名木川を通って、スカイツリーコースを計画しております。水辺からの景観は格別です。又、その他の企画も検討中ですが、皆様のご意見希望があれば、気軽に海原会までお問い合わせください。尚、催行予告は海原会ホームページ、海原会サロン(海城祭)にお越しの節チラシなどでご案内します。どうぞ多くの友人ご家族お誘いあわせの上参加をお待ちしています。
(見学会世話人 S27年卒 山本満男)



「海城祭」期間中オープン

例年9月に開催される「海城祭」に海原会は今年も参加、同窓生のための「海原会サロン」を開設します。海城祭は生徒の自主運営の形を取って開催されている大イベントです。各クラブや同好会、学級、有志などがそれぞれに教室やグラウンド、前庭などで日ごろの課外活動の成果を披露しています。若い後輩たちの生き生きとした姿を間近に観ることができ、全館外部者にも開放されるという機会でもあります。そのため父兄関係者のみならず近隣の人や女子高生、さらに中学受験を目指す子供たちとその親御さんなど毎年2万人以上の人で校内があふれかえっています。

海原会サロンはこのような機会に久しぶりに母校を訪れる同窓生の方々のための「憩いの場」「休憩所」「待ち合わせ場所」として利用していただくことを狙いに開設しています。同時に同窓会である海原会の活動を現役生や外部の人たちにも知ってもらおうと、毎年、草創期から現在まで学園の歴史を写真や資料で紹介したり、学園



などの紹介、さらには学園出身者で社会的に知られた人や現在活躍している人たちおよそ1000人をピックアップして紹介するコーナーなどを設けています。海城に縁のない人たちにももちろんですが、卒業生でも「知らなかった」「こんなことがあったのですね」とか新たな発見に驚く声も聞かれます。ぜひ皆さまこの機会に学園を訪れて大きく変貌し発展してゆく学園の姿とともに、同窓会「海原会」の活動へもご理解を深めていただければと思っております。皆さまぜひこの機会に母校を訪れてみてください。

(サロン支配人 S41年卒 森山昭洋)

池内宏さん、副会長就任



石原副会長(S33年卒)より体調不調のため副会長退任の申し出がありました。慰留に努めましたがご本人のご意志もかたく受理をさせていただきます。経緯を平成29年12月9日の常任幹事会に報告し、併せて後任の副会長に池内宏現総務委員長(S33年卒)が選出されました。

任期は石原副会長の残任期間とし平成31年3月末日までとなります。長年にわたる石原副会長のご功績に心から感謝申し上げます。

(総務委員会)

平成30年海原会賞

俳句甲子園出場の3人に授与

今回の海原会賞は第20回俳句甲子園に出場した藤田陽平さん・三嶋浩樹さん・宮坂一輝さんに決まりました。俳句甲子園チームは昨年に引き続き2年連続で受賞者の輩出となりました。

「俳句甲子園で戦う後輩たちに触発され奮起したら、プレバトという番組で俳句の才能アリと判定されました」とは卒業式での徳光会長の言葉。

今年は決勝リーグにこそ進めなかったものの高1が優秀賞を獲得するなど層が厚いところを見せられました。それも、彼ら最上級生のリーダーシップによるところでしょう。海原会では卒業生の中からユニークな活動をし、特に功績のあった卒業生に対し、海原会賞を贈っています。

(広報委員会)



母校で「成人を祝う会」

徳光会長、森山副会長が祝辞

海原会が毎年、新成人となる会員のお祝いを支援して開催している母校での「成人を祝う会」が今年も1月8日(月)に海城学園の講堂で開催されました。今年の新成人は平成28年卒業の皆さん287名が対象者となりますが、同期代表幹事の呼びかけにそのうちの8割以上の240名が参加し、盛大な式典になりました。この「祝う会」は地元を離れ海城に通って青春を過ごした生徒たちが、地元自治体などが主催する成人式に出ても知り合いがいないので海城で集まりたいという生徒の要望から始まったものです。あくまでも会は卒業生の自主運営という形を取っておりますが、今年で4回となり今では単に同期会を越えて海原会が学校協力を得て支援する一つの重要事業となりつつあります。

長ほか池内・森山・国井の3副会長が出席、学校からも内田教頭はじめ当時の担任の先生方にご臨席いただきました。「祝う会」の幹事の大沼準一君のあいさつに続き徳光会長、森山副会長が「前途洋々たる新成人の社会における活躍と発展を願い、併せて海原会活動への積極的な参加と協力をお願いしたい」との祝辞を述べられました。続いて学年主任の奥村潤

先生の心を込めた温かい励ましや祝辞や担任された先生方の紹介など式典は格調高くまた和やかに進行しました。最後は森山久君のピアノ伴奏で校歌を高らかに歌い式典を終えました。引き続きカフエテリアに場所を移し懇親会を開催。先生方も交え、和やかに賑やかに盛り上がりしました。新成人としての自覚を改めて深めた事と思います。海原会は今後もこの成人の祝いを後援してまいります。

(広報委員会)



グラウンドに眠る歴史考Ⅱ

改善高校と海城との間の敷地に戦前の十年間、数百人の内モンゴルからの留学生が学んだ学校が存在したことを前回紹介しました。今号ではその本科である善隣高等商業および母体である善隣協会に焦点を当ててみます。

横井成行教諭—大久保学—

前号に同校を紹介した後、社会科の横井成行教諭より研究集録『海城学園グラウンドからモンゴルへ—「大久保学」の一環として』をいただいた。数年前に横井教諭が



昭和41年頃の海城学園 (写真提供・所蔵：新宿区立新宿歴史博物館)

善隣高等商業学校 その2

平成5年卒 高橋有仁

「秀才を養成するのではなく、真面目な人間を養成する」

横井教諭は当研究集録に善隣協会がその機関紙『蒙古』に掲載した「善隣高等商業学校—その特色と生徒採用方針—」という広告文を取り上げている。「学校設立の趣旨」に善隣協会について一文で表したものがあつた。

「昭和九年以来、内蒙に於ける文化工作に従事し、傍ら調査機関を設けて満・支・蒙は固より西北支那・中央アジア・ソ聯邦等の實情の調査、研究を続け、アジア諸民族の復興と新東亜の建設に微力を傾注して来た」

「善隣高等商業学校も、大陸問題に深く

認識をもち、大陸経営の先驅となる剛健有爲な青年の養成を目指して昭和九年に開校されたものである」

前号で第一回の募集定員五十名に対し、大勢受験したにもかかわらず二十九名しか合格を出さなかったと書いた。これでは経営が成り立たないのではと心配になる不可思議な点を挙げたが、広告文の採用方針にその疑問に答えるヒントがあつた。

「人物考査と身體検査に重點を置き、教練不合格者及び素行不良な者は拒絶する」

海城から当校へ進学した三名はこれらの条件をクリアしたということであり、成績上位クラスである「東組」出身であつたことは頷ける。

官報に生徒募集広告

同じ広告文でも、上記が善隣協会にはじめから関心を持つ人が自分の子どもや受け持ちの生徒に勧めるべく読むのに対し、世間一般に見せる募集広告があつた。それも官報に載せている。広告(写真右下)は昭和十一年一月二十日発行の官報で、巻末の広告ページには複写機やタイプライター(印刷関係者)のほかに受験シーズンもあつて生徒募集広告が三つあつた。皇學儒學専攻大東文化学院、大阪女子高等醫學專門學校と時代背景がわかる所に並んで「善隣協會專門學校」がページの四分の一の枠を与えられていた。

試験科目や入学資格(高等商業学校に同じ)。特色欄は「卒業後内地特ニ満・蒙、

支方面に就職セントスル青年トナリテハ他ニ其ノ類例ヲ見サル特色ヲ有ス」そして「善隣学寮完備シタル寄宿舎ニシテ學校構内ニアリ、地方出身ノ第一学年生ニシテ東京ニ家庭又ハ親戚ナキモノヲ收容シ人格ノ陶冶ヲ計ル」とある。寮があつたということは、海城のグラウンドの土地で廃校まで数百人の男子が寝起きしていたのだ。

問い合わせ先が無い

この広告にはもう一つ変なところがある。試験日は書いてあるのだが、願書を送る住所が書いていない。電話番号も書いていないからどこに問い合わせるのかわからない。ほかの学校はちゃんと所在地が書いてある。「役員顧問陸軍大將林銑十郎、校長陸軍中將井上瑛」や関連校である東京植民貿易語學校(現・改善高等学校)、内蒙小学校や内モンゴルに置かれていた五か所の支部などの宣伝にスペースを割きながら大事な願書の送付先を書かないのはレイアウトのミスとは思えない。所在地を明かしたくない理由があるのではないだろうか？

横井教諭は「大久保学」に、1930年代から40年代、海城が建前上海軍兵学校への進学を主たる目的とした学校+モンゴル人の学+善隣専門學校+陸軍戸山學校+近衛騎兵連隊(現・学習院女子大学)のあつ

生徒募集

善隣協會專門學校

- 一、出願期日 二月一日ヨリ三月廿五日迄
- 二、試験期日 三月二十六日(語學・算・支・露・中・ラ・獨・文)
- 三、試験科目 三月二十七日(國史・代算・中・ラ・獨・文)
- 三、入學資格 一般官公立立高等商業學校ニ同シ
- 四、本校ノ資格 卒業後一般官公立立高等商業學校ニ同シ
- 五、募集人員 其ノ類例ヲ見サル特色ヲ有ス
- 六、本校ノ經營 及 目的 本校ハ附屬法人善隣協會ニシテ國家的見地ヨリ少數ノ生徒ニ對シテ徹底シタル教育ヲ施シ以テ直接ニ立派ナル専門技術ヲ養成スルヲ目的トス
- 七、善隣學寮 東京ニ寮長又ハ親戚ナキモノヲ收容シ人格ノ陶冶ヲ計ル
- 八、善隣協會ノ内容

た大久保地域は『ミニ軍都』であり、軍の将来を担う人材を育成する機関の集中地であつたと書いている。

つまり國家戰略上所在地を明かせられないうが、意欲のある青年に求めているのだから宣伝が主たる目的の募集広告となつたのではない。応募者は問い合わせ先が書いていないからこの広告を載せた官報の発行部に手紙を出して住所を尋ねるしかない。官報を発行しているのは国であるから、手紙を出した時点で審査が始まっているのだ。そして審査にかつた者にだけ所在地が知らされる。一般には手の届かない学校が隣にあつた海城生は、かような一次審査を受けなくて済み直接願書を提出できるメリットがあつた。

(つづく)

参考文献・官報1936年1月20日、横井成行『海城学園グラウンドからモンゴルへ—「大久保学」の一環として—』、『同II』、『同III』、『海城中学校・高等学校研究集録 第36集』(平成24年3月)、『世界の動向と東亜問題』(善隣協会・善隣高等商業学校編 生活社(1941)、『海城百年史』(1991)

私の囲碁との出会いは、小学高学年のころ親友の御宅で教わったのが初めてと思います。近所に親友がいて彼の父と兄2人にいろいろなことを教わりました。その中の一つが囲碁だったと思います。当時杉並区善福寺界隈ではプロの囲碁・将棋棋士も住んでいて流行っていた時期があったようである。そういえば日本棋院も将棋会館も総武線です。

私の囲碁

昭和41年卒

その後中学になると野球や卓球に変わり麻雀へと変わっていきま



した。大学を卒業し建築設計事務所に就職し大好きな設計を一心不乱にやり独立し、バブル真っ只中の1988年2度目

の引越して隠れ長嶋フアンのは三番町に居を構えその7年後五番町に移りました。私のデスクの目の前は日本棋院でした。昼食

蒲澤信男



の時外(出ると普通)にテレビに出てくる棋士が歩いていました。一寸覗くと一般人も対局できることを知り、参加すると3連勝してしまい爽快でした。3級になり、二度負けると興味がなくなりすっかりやらなくなっていました。その数年後、親友が亡き母から預かった遺品の中から囲碁に関する資料があったと言うので日本棋院で立ち会いました。なんと江戸時代から伝わる四

海原会碁友会 会員募集!!

毎月第一木曜日の午後1時〜5時、高田馬場の(株)伊勢友事務所(代表 坂本誠一氏 S27年卒)で開催しています。メンバーがまだ2桁手前です是非参加してください。

住所 新宿区高田馬場3-2-5フレンドビル9F
連絡先 麻生英二(勤) 090-3812-6696
蒲澤信男 090-8318-8826 sins3@nifty.com

植野妙実さんが来た!

2017年12月24日(日)これが最後最後と3回目。「生きるまで何回やってもいいじゃないの!」



(笑)利根山夫人は96歳のお婆ちゃんになった。教

「利根山光人思ひ出の会」

昭和27年卒

山本満男

え子の我々も年を取った。そんな訳で総勢8名、思ひ出を語った。アルテ・トネヤマには「縁」

りではない。海原会報の継承者、いや創立者と言ってもよいのではないだろうか。思い起せば、なんていうことだ。利根山先生と河原先生は同じ早稲田出身で、河原先生が海城に引張つて来た人。河原先生なくして利根山先生はあり得ない。この巡り逢いは我々にとって幸運だ。更にトネサン(利根山先生)は、元々河原先生同様、国語の先

生だった。トネサンは知らぬ顔をして美術の先生で通したがバレたらしい。当時は「1週間ばかり研修を受ければ教員免許が取れる」と言われ美術教師になつた。この粋な計らい!先生も先生なら理事長も理事長だ。この人間性が素晴らしい。染み付いたアトリエの窓から夕陽を浴びながら時を刻んだ。また、植野さんは現在中央大学教授(法学博士)で教鞭を執っている。これが縁でFacebookでの活躍ぶりを応援している。「縁は異なるものの味なもの」である。



海城吹奏楽団 第25回定期演奏会 新しい海城スタイルを求めて

海原会総会で毎年、同窓生の目の前で特別演奏をしてくれる海城吹奏楽団の対外公演が4月2日(月)、東京・中野の中野ゼロホールで開催されました。今回で25回目となります。昨年度入部した新人(現中学2年生)9名を加えた、高校3年生までの総勢46名がこの一年の猛練習の成果をこの大きな舞台で披露しました。今年はこの様な演奏テーマをあえて設けずに、生徒の自主性を重んじて楽団員が自分たちのやりたい曲を選んで構成するという形をとったことです。このためか、演奏曲目はジャズやポピュラー的なものが中心となり、全体的に明るくリズムミカルで親しみのあるものとなりました。今後海城の吹奏楽団としての特色をどのように出していくのか課題もあるが、例年よりも演奏者も肩の力を抜いて愉しんでいるように感じられました。アンコール曲も「ヴァケーション」とノリノリでした。また今年の海原総会でも聞かせるので皆さまもお楽しみに。



(広報委員会)

多趣多芸ワープロの パイオニア

山本直三さん

やまもと なおぞう (昭和22年卒)



山本直三さんは戦争が終わった途端混乱の中で卒業した方だ。

海城時代は「勉強なんてしないよ！勉強どころじゃないよ。学徒動員で中島飛行機で働かせ爆弾を落とされ、中学3年で終戦を迎え、共に過ごした仲間が帰らず、かなり減ったんだ」と言い辛酸な目にあつたという。

「錨友会」

錨友会とは同期会の名称だ。

曰く「錨友会とは縁起が悪い！病友会と間違ひやすい。離錨会にしよう！」と何度も言ってきたが結局そのままになっているという。

山本さんは共に暮らした同期の仲間が他界し減ってきた。仲間とはあの戦艦三笠の元保存会会長の沖為雄（数年前亡くなられた）また戦後の「海城新聞」の初代編集長で気を吐いた。のちに海城の理事を務めあげた方。海城の屋台骨を背負った大先輩達だ。今でも「錨友会報」を作り、仲間の消息を確かめ合い発行している。

ワープロのパイオニア

又、山本さんはエッセイ集を出版している。

われら 海城人

伝統文化の伝道者

常磐津菊美太夫さん

(本名 細井義雄)

ときわつきくみだゆう (昭和41年卒)

「桜の花を観るときの目線はこう、梅の花を見る時はこうなのよ」「団扇も女性はこのように風に手前に向かって煽いで、男性みたいにバタバタ煽がないの」「二人で話をしているときに横から呼ばれたら、そっちに直接目を向けるのじゃなくて、一度目を手元に向けてそれからその方向に顔を向けるの」——細井さんにかかとと殺伐とした日常世界が一変して優雅な舞台を見ているような気分になせられる。それもそのはずである。日本舞踊を始めたのが3歳のころ、今は菊若流を名乗る家元だ。

る。きつかけは親友が危篤になり、励まし慰めようとハガキでエッセイを毎日出したという。積もり積もって本になった。

本の題名は「和風朗 葉書エッセイ集」とある。和風朗？ ワープロをもじって Wafuro と言わせたらしい。

山本さんは東芝ワープロのパイオニアだからである。今というならパソコン技術書みたいな本を著述し、ワープロを普及するためプログラム課長になったと言う。その時の著述書23冊に及んでいる。

大学教授

パソコンの元祖ワープロは小型化され携帯化され、安価になった。言葉を使つて表現することが出来る必需品になった。

当時、IT産業の走りとして、受けに受けて全国を講演して回った。その時分、各大学専門学校などはIT情報の新学科を新設した。回っている内に愛知学泉大学の経営情報学科の教授を務め研究実績を上げた。73才で大学を去り、老後の生活に踏み入った。

囲碁と合唱

回想する。山本さんは早大1浪中何をしてたかという、学習より囲碁に夢中

3歳から踊り

家が花街の中にあつたのでいつも周りには芸者さんや小唄、長唄の師匠さんがいた。その世界に入つたのは自然なことだったという。「5、6歳のころはいろいろな発表会のゲストとして呼ばれて踊つてました。芝居も好きで師匠や芸者さんと一緒に歌舞伎を観に行きました。ご一緒する方々が役者衆と交流があつたため楽屋にもおじゃまする機会が多々ありました」。小学校の卒業式の後の謝恩会では藤娘を披

なり考えれば小学生のころから、親や兄たちを見て囲碁を覚えて、早大に入つた時には三段になっていた。そして同好を集め、「早大囲碁会」を設立したという。大学ナンバーワンになった。

早大在学時代に創設したコールフリーゲル合唱団に関わつたシアOBを中心とする男声合唱団（いらか会合唱団）を結成し今に至っている。毎月、第三曜日に練習するので「サンゲツ会」と言っている。囲碁と合唱は一生の友と言っている。

山本謡曲一家

亡くなった弟の豊さんから兄貴は謡曲を謡うんだと唸つていた。謡曲とは能楽を演じる背景に謡う歌謡だ。

山本さんは珍しく10人兄弟の9男だ。兄弟の中で病没が激しく、母親は声を張り上げることは健康にいいと、小さい頃から半強制的に習ったという。「毎年恒例の行事で、兄弟が集まつて謡うんだ」といつてアルバムを見せてくれた。

「謡のどこがいんですか」と問いたすと、すかさず「文学がいいなあ！」「日本三文学芸術だからである。教本は読みにくい字で書いてある。「見ていると読めちゃうんだ」

だった細井さんですが、20歳ごろ突然常磐津の休業を宣言します。「歌も踊りもできるということで重宝に使われていた。忙しすぎて疲れたのと常磐津で身を立てようとも考えていませんでしたし、ちょうど師匠が亡くなったこともあり辞めよう」と。そして心機一転、赤坂で会員制のクラブのような店を始めたのだが、このことが細井さんの現在の生き方を決定つけたのだから面白い。ちょうど社会が70年代から90年代に向かつている元気のいい時だった。その店は細井さんがそれまでに

習うより慣れろ。だなと思つた。素晴らしい家庭を訪問した。

卒寿を迎える山本さんからハガキが届いた。「わたしもまた、充実した終わりを迎えるべく、『歌う・歩く・語る・書く・打つ（囲碁）』を、絶え間なく行い、終活を続けようと思う」とあつた。

(山本満男 記)



大学で教える

細井さんは今、東京音楽大学大学院オペラ科の学生たちに和物オペラの代表的な「夕鶴」「修善寺物語」などの演技所作指導をしている。「いまは着物の着方とか、歩き方とか、言葉使いとか所作一つ、江戸時代とか昔の文化が分かる人がだんだん少なくなっています。いまは常磐津や日本舞踊の稽古で培った知識や経験、歌舞伎の演技やそれらに携わる様々な人



しかも6歳で人間国宝常磐津菊三郎に入門して常磐津を始め17歳の時には太夫の名取となっている。伝統芸能の世界は細井さんの血となり肉となっている。その語り口、身のこなし、描く情景すべてが常磐津の語りや歌舞伎の芝居や日本舞踊の振り、仕草から自然にでてくるのだ。

休業して充電

若くしてすでにその世界で引張りだて

露している。中学でも学園祭で清元「玉屋」を踊っている。すでにそこには歌舞伎の舞台にも出演していた。そのため「学校を早退することがよくありました」。結局その仕事が忙しくなると高校2年で自主退学することになったのだが、「でも当時は学校も先生もそれを認めていて許してくれていたんですね。お陰さまでいじめとか嫌な思いもなく過ごせました」。

知り合った歌舞伎の役者や歌手芸能人をはじめ、作家、テレビ関係者、さらには相撲の力士とかまで錚々たる人たちが集まる「文化基地」となっていたといいます。そこでテレビ番組の司会をしたり新宿コマ劇場の舞台に立つたり、タレント的な新しい可能性の世界も経験することになったが、常連客の一人だった18代目中村勘三郎丈から声を懸けられ、後に平成中村座ニューヨーク公演に参加することになるなど、細井さんが常磐津に復帰するきっかけを見つける貴重な時間となった。15年ほど前

たちから私が学んだことをすべてを教えてくださいます」。

いまの若者の語彙の貧困やコミュニケーション力の低下は、結局は周囲の大人の言葉が貧困で良質なコミュニケーションが成り立っていないからだである社会学者はいう。細井さんが育ったような言葉が飛び交い人々が生活する街はなくなっているし、伝統芸能を継承する人も少なくなっている。常磐津菊三郎のような人が居てくれることがどれだけ社会にとって重要なことかとつくづく思う。

(小西洋也 記)

ロシアW杯「サポ村」副代表

堀内文雄さん
ほりうち ふみお (平成15年卒)



ロシアW杯まで3ヶ月を切った3月某日。サッカー日本代表を応援するサポーターたちの中心に堀内文雄さんはいた。

堀内さんはサポーター村を作る会、通称「サポ村」の副代表を務めている。サポ村ではサポーターのためのツアーを組織し、サッカー日本代表を安全に応援できる環境を作っています。南アフリカでは183名、ブラジルでは268名が参加し、ロシアW杯では2000人超のサポーターが参加する予定だ。

サッカー選手目指すがケガ

堀内さんが海城中学校を志望した決め手は広いグラウンドだったという。5つ上の兄が通う海城を見学した際に、ここでサッカーをしよう！と決めた。

入学とともに中学サッカー部に入部すると、めきめきと頭角を現した。高校のサッカー部と一緒に練習させてもらったこともあるが、体育科の斉田先生に比べて先輩ともども怒られたという。とはいえ、実力は誰かが認めるところだった。

1学年上のサッカー部の先輩のアドバイスもあり、高校では部活ではなくクラブチームでサッカーを続け、Jリーグの下部組織を相手に技を磨いた。ケガもあり、

競技としてのサッカーは高校で終了したが、充実した日々だったという。

プロの世界を学ぶ

そこからは切り替えて大学受験に取り組んだ。父も医師、兄も医学部に進んだ家庭。理科コースから文転(文系大学に進学先を変えること)をした際は先生たちを驚かせた。上智大学合格の報告をした際には、「おめでとう」より前に「浪人しないの？医者か？」と聞き返した先生もいたという。

大学では体育会の競技サッカーはしなかったが、ケガも癒え、サッカーサークルのキャプテンを務めた。そんなある日、ボールは蹴っていたが、プロの試合をじっくり見ていなかったと気づいた。大学4年の6月に一念発起して、1か月間欧州を巡りながらドイツW杯を観戦した。

サポーターとの出会い

大学卒業後はシステム開発会社に就職。エンジニアとして入社したが弁が立つので気づけば新製品の導入に関するコンサルタントを任されていた。今でいうブラックという表現はなかったものの、なかなかの業務の中で2年後には最年少マネージャーと

して活躍した。

そんな社会人生活の一方でサッカー観戦は続いた。2010年には南アフリカW杯を10日ほど観戦したとき、日本代表のサポーターたちに出会った。彼らの中には世界中どこへでもついていって応援する人たちがいる。どうしてそんなことができるのか不思議に思い聞くと、多くは起業している経営者なのだという。彼らは自分の人生を自由にデザインしていた。

人生を自分でデザインする

働き方を変えて自分の人生を自分の手に取り戻したい。そんな漠然とした思いの答えがここにあった。堀内さんは、迷わずeコマースを取り扱う会社を起業した。その結果、2014年のリオデジャネイロW杯では1ヶ月滞在することができた。会社は軌道に乗り、先日5期目を終了している。

「観戦と応援は似ているようで違うんです」と堀内さん。

観戦は文字通り観戦して自分が楽しむこと。応援は声援を送ることで、選手とサポーターが一体化することだという。いかにスタジアムの雰囲気を作るかが大切で、遠い異国の地での試合でも、応援が選手た



ちに響けば、日本で試合をしているようなパフォーマンスを引き出せるのだという。

「ロシアW杯の日本戦は全部見ます。決勝まで残ったら？もちろん見ます！」堀内さんは語る。堀内さんにクラブチームでのサッカーを勧めた先輩は、井ノ口孝明さん(平14)という。井ノ口さんは現在ロシアのサンクトペテルブルグにあるFCゼニトで働いている。ロシアW杯の合間に井ノ口さんに会うことを約束しているそうだ。

海城のグラウンドを起点にして世界で活躍し、サッカーと一生関わり続ける海城OBの姿がそこにあった。

(国井信男 記)



女性の先生

出席者

中村久憲先生

清水 萌先生

山崎史夏先生

上野愛理先生

平成24年／現在(英語)

平成26年／現在(非常勤1年経験あり・英語)

平成29年／現在(非常勤6年経験あり・国語)

近年海城学園は全く変わりました。授業の内容、生徒の雰囲気、教職員の年齢構成とまるで新しい学校に生まれ変わったかのようなようです。この新しい海城の当事者に、ここ数年増えた女性教師がいます。現在の海城を知るヒントがあるかもしれないと思い、三名の専任教諭にお話を伺いました。(編集部)

(中村) かつて海城高校に昭和22年から58年まで江幡先生という音楽の先生がいました。また非常勤講師は小松先生という国語科の先生が平成元年から7年までいました。このほか過去に非常勤講師では平成2年以降27名、プラス現職の18名の女性教師が教壇に立っています。(事務・図書館・理科助手・養護教諭を除く)

そして今日お集まりいただいた3名の先生が現在の専任教諭をされているお方です。

清水萌先生は平成24年から海城で専任教諭として勤めていらっしゃいます。30年ぶりに海城の女性専任教諭として採用された、いわばパイオニアです。彼女の活躍があったからこそ後に何人も続きました。

山崎史夏先生は平成26年から専任で高校1年の担任です。で今四年目です。非常勤一年からの経験です。

上野愛理先生は専任になったのは一番遅



海城が決まったのが9月頃で、いろいろ海城高校や生徒の雰囲気などを見て、海城にお世話になることにしました。

(山崎) 私自身は共学の一貫校出身で、教員になろうと思ったとき弟がいることと自分の性格に合うと思い男子校を視野に入

海城が決まったのが9月頃で、いろいろ海城高校や生徒の雰囲気などを見て、海城にお世話になることにしました。



とてもよく、ご縁があつて就職しました。

(上野) 私は滋賀県出身で最初は京都の学校に勤めていました。東京に来るようになったとき、京都の学校は新進気鋭の進学校でしたので、今度は自分の母校みたいな伝統校に勤めたいと思って募集の出ている海城を調べたら、沿革のページに卒業生に女性がいらつ

て、海城初の女性の卒業生ですと書いてあったから「共学や」と思って受けに行ったら男子校でした(ははは)。

採用試験も受

か

つ

ま

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

や

う

な

か

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

がとてよく、ご縁があつて就職しました。

(上野) 私は滋賀県出身で最初は京都の学校に勤めていました。東京に来るようになったとき、京都の学校は新進気鋭の進学校でしたので、今度は自分の母校みたいな伝統校に勤めたいと思って募集の出ている海城を調べたら、沿革のページに卒業生に女性がいらつ

て、海城初の女性の卒業生ですと書いてあったから「共学や」と思って受けに行ったら男子校でした(ははは)。

採用試験も受

か

つ

ま

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た

が

あ

つ

て

い

ら

し

た</

事を両立しているところを見せてほしいです。今の時代生徒が大人になって結婚したりする時にはもっと共働きが当たり前の

世の中になつていと思っています。その時に生徒自身が、自分のお母さんは専業主婦であつたとしても、お母さんと同じようなこ

とを奥さんに求めないで、むしろ奥さんが社会で活躍していることを支えてあげられるような旦那さんになつてほしいと思いま

す。そのことが結局は生徒自身の幸せにつながると思っています。女性教員もその

― 本日は貴重なお話ありがとうございました。 (司会 平成5年卒 高橋有仁)

退職にあたって



海城学

園には40年

間勤務した。

40年前、つ

まり昭和53

年(1978

年)当時の

海城学園と

今とでは大

きく異なっている。建物(今残っているのは、4号館と5号館、そして3号館の一部のみ)は勿論のこと、中・高の構成比(中学3クラス、高校10・12クラス)、教育課程(高校2年から、文科A・文科B・理科の3コース)、その他様々な点において変わった。通学

路にはロッテの工場

からクールミントガ

ムの臭いが立ちこ

めていた。校内に

は家族で住み込みの用務員さんもいた。

さて、この40年を個人的体験として、4期に分

けてみようと思う。

【第1期】1978年～1993年

海城に勤務した翌年の1月、第1回の共通一

次試験が実施された。今の大学入試センター試

験の前身である。日本の中等教育の革新と言っ

てもよからう。そして4月から中学1年生の担

任となった。学年主任は英語の飯塚先生であつ

た。ここから15年間の担任生活が始まった。高

校では体育の半沢先生や国語の新田先生と文A

コースの担任をしていた。授業、ホームルーム共

創意工夫の時代であつた。そして生徒・教員共

にゆとりがあつたように思える。高校の修学旅

行は夏休みに一週間ほどかけて、北海道や九州

を1周した。北海道の日高・平取、九州の珍珠

でのファームステイを実施していた。

【第2期】1994年～2005年

中学1年から高校3年までの6年間の学年主

任を2サイクル連続でこなした。社会科の福田

先生や数学科の大和先生・森先生などと組ん

だ学年である。最も面白い12年間であつた。面

白い、そう、自由に活動した年月ともいえる。と

にかく他学年ではやらないユニークな活動をた

くさんやつた。遠足はすべて登山、勉強台宿、芸

術鑑賞……。学年スタッフも生徒諸君も大変で

あつたかも知れないが、今思えば彼らもやはり

楽しかつたのではなからうか。高校の修学旅行

では2回とも屋久島に行き、縄文杉登山を行つ

た。大学進学熱も高まり、それなりの結果を

40年を振り返る

国語科教諭グローバル教育叢

残すこともできた。それは勉強だけではなく、あらゆる刺激的な活動がもたらした成果であつたろう。

【第3期】2003年～2011年

学習指導部長の時代である。一時期学年主

任と重なる。世間からも進学校として認知さ

れるようになった。学年主任時代の経験で、学

習面において他学年でも実施できるようにした

という思いがあつた。つまり、机上の学問だ

けではなく、外にも目を開くということである。

外部から講師を招聘して講演会を開いたり、進

学フェアなどにも参加する道を開いた。学校

の講習も盛んにした。そして学習進度の年度差

をなくす意味で、外部模試を定観測として実

施することにした。中学3年生から高校3年生

春田裕之

徒諸君には思考・

視野を日本だけ

なく世界にまで広

げるチャンスを与え

るようにした。今まさに国が目指す教育改革と歩調を同じくすることとなった。その為に最初に手がけたことは留学規定を作ることだった。

留年せずに1年間の海外留学を可能にした。ま

た、外部団体主催の海外交流プログラムに積極

的に参加するよう促した。アメリカ、韓国、中国、

インド、ヨーロッパなど生徒諸君は次々に世界へと

飛び立っていった。新モンゴル高校との学術提携

も実現した。さらに、模擬国連活動を活発にし

た。高校の模擬国連部はこの春、日本代表として

ニューヨーク開催の世界大会に参加する。

ここまで書いてきたことはこの40年間の活動

のほんの一部である。卒業生諸君はこの時代に

該当したであろうか。これを機に青春時代を

振り返つてもらえればと思う。

元那須海城教頭 平成3年卒 塩田顕二郎

現海城学園法人事務局



みなさんは1931年にエド

ワード・ハークネス博士が考案し

た「ハークネステーブル」をご存知

でしょうか。このハークネステー

ブルを用いた授業形式はアメリカの

ボーディングスクール(寮制学校)

であるPhillips Exeter Academyか

らはじまりました。そして、今では

「ハークネスメソッド」として確立

され、アメリカはもとより日本

も注目されています。

この楕円形の木製テーブルには

12名・14名ほどが着席できます。

このテーブルは、対話型の授業で用

いられ、教員は「教える」のではな

くファシリテーター(調整役、促進

者)となつて生徒と対等な立場で

授業に参加します。まさに、生徒

と教員が授業を創造していくアク

ティブ・ラーニング(課題解決型

指導・学習)に適したテーブルと

言えます。

このハークネステーブルを200

3年から3人導入した那須海城で

は、独自にハークネスメソッドの研

究・実践を積み重ね、少人数の特

性を生かせる授業において積極的

に取り入れていきました。

実は、この那須海城にあつたハー

クネステーブル3台が、現在本校の

グローバル教育部や4号館の教室

などに置かれています。いわゆる

40人前後の通常授業でこのテー

ブルを使うことは難しいですが、少

人数での授業・講習、KSプロジェクト(昨年から海城がはじめた新

しい取り組み)などで今後ますます

活用されていくことと思います。





同期会 クラス会 だより



昭和20年前期卒「海原卯辰会」 卒寿迎えた第40回クラス会

我々20年卒は卯年と辰年生まれで、今年
は卒寿を迎えた。病気でも歩いて出席でき
る元気なものが集まり、平成29年10月18日
新宿の小田急百貨店十三階「さがみ」でク
ラス会を開き、八名の精鋭が集まり旧交を
温めました。毎回出席の前海原会長の植
木君は昨年脳の切開手術をしたものの、そ
のそぶりもみせず元気な顔を見せ変わらぬ
弁舌をみせていました。例年一桁の出席が

今年は一桁でも、九十になつて杖を頼りのも
のみなまだ口だけは達者で談論風発、こ
の元氣は海城時代のあの鍛錬のたまもので
しょう（例えば冬の朝礼に上半身裸での体
操、泥土の中の匍匐前進、完全武装での夜中
の行進など）。またこの一年は計報に接し
たものはいませんでした。後輩の皆さんも
海城魂で頑張ってください。

我々20年卒には多士済々学者あり、技術
者あり、長生きの叙勲者も出ました。また
これからも健康に留意してこのクラス会に
は何人出られるかわかりませんが来年も再
来年もオリンピックを目指して百歳くらいま
では続けようという話し合い散会しました。
（矢田部 章）

昭和31年卒 同期会 傘寿の会開催

平成30年4月8日（日）に、昭和31年卒業
生の学年の同期会が開催された。明治から
150年目の今年、明治記念館に会場が確
保出来、会員全員が80歳を超え、傘寿の祝い
という意義のある集いとなった。

当日会場では、小川晋一君が収録した在
校時のヒット曲がBGMで流れる中、30名卒
業（50名）が集まった。ほとんどの先生方
が鬼籍に入られる中、89歳で今なお、講演な
どでご活躍中の関下俊英先生にご出席戴き、
お話しを伺うことが出来た。

冒頭、大澤英夫世話人代表の会の現況報
告に続き、岡本清君の音頭で乾杯、鬼籍に
入った同期の友人に送る、山田麗君の尺八演
奏で会が始まった。会のプログラムは三部構
成で、第一部は「元気で長生きの秘策」のス
ピーチを10名が、中林宏夫君の司会で行わ
れ、第二部は、遠藤寛造君の司会で、「青春時
代」等のなつかしい歌を6曲、カラオケをバツ
クに全員で合唱した。その後第三部では、9
名がギターの名手、功刀忠雄君の伴奏で、自



慢の咽を披露した。功刀君の伴奏は見事な
ものだった。

この中テーブルでは、あらゆる種類の酒が
用意されたが、特に、新潟大学の日本酒研究
室の醸造指導による新酒の評判が良かった、
これは、同大学卒で新潟在住の医師である
清水順也君が送ってくれたものであった。3
時間に及ぶ盛會も、校歌の斉唱で終り、事務
局の村上君から、今回は連絡可能者128名の
23パーセントしか参加していない状況が報
告され、学年全体で行う行事は、今回で最
後とし、今後はクラス単位等で行う提案が
なされた。この後、上野周二事務
局長の三本締めで、八十路の航路を元気で

昭和36年卒 「60歳」 声のデカさは健康に比例？

無事に航海をしていく事を誓い合い、BGMの
「錨を上げて」に送られて散会となった。
（村上 勲）

36会恒例の忘年会が12月7日、東京四
谷・長崎県産業支援センターで行われまし
た。会場の設定は赤石浩君の手を煩わせ、
酒肴は各自が持参というスタイルは例年通
り。参加者は16人。

宴もたけなわ、近況報告では、「いつも家
にいと、たまには外に出たら……と女房に
言われてね。同期の集まりには最優先で出
席。助かっているよ」という声もあれば、「そ
う言ってくれる人間が、オレにはいないから
な」という声も。「嫁さんをもらえばいいん
だよ」とは経験者、杉山紘千佳君の適切な
アドバイスです。置かれた今の状況は様々
に違つても、多情多感の高校3年間、同じ空
間を共有し、卒業してから半世紀以上、同じ
時代の空気を吸った者同士が、何のこだわり
もなく酒を酌み交わす場は大切にしたいと
いう思いは、皆、同じでした。さらに参加者
を増やすことも。

来年のイベントを話し合う段になって、「イ
ベント催事リーダー」の齋藤邦雄君が「健康第
一で、ウォーキングにしたらどうか」と提案す
ると、「ウォーキングはしんどいな。パスだよ」と、一見、肉体的健康の岡本隆雄君、名園「六
義園」のライトアップされた夜桜を借景に、
庭園に近接するマンション（木村弘昭君の自
宅）で、花見会を開く案。「台湾も近くて悪
くないぞ」などアイデアが飛び出しました
が、ここが齋藤君に一任することで衆議一決。
それにしても「白玉の歯にしみとおる秋
の夜の 酒は静かに飲むべかりけり」と歌つ
たのは若山牧水でした。この夜の皆の声の
デカイこと。大テーブルを囲んでの宴で、対

永年会費納入者

（敬称略）

平成21	齋藤 圭汰	昭和46	関口 隆雄	昭和51	鈴木 正義	平成24	矢部 俊和	昭和44	加藤 正芳	平成28	田原 直樹	平成28	高橋 篤司	平成29	鈴木 智仁	平成27	酒井 一樹	平成29	入江 啓明	平成29	谷口 大昂	平成16	鰐坂 志門	昭和42	篠崎 清	平成29	八島 侑輝	平成25	坂口 悠	平成10	五十嵐太郎	昭和46	鈴木 一朗	平成28	石倉慶太郎	平成28	黒岡 知希	昭和50	桐生 茂	昭和60	高倉 裕一	昭和54	小松 省人	平成08	高田 茂	平成21	古茶 宏志	平成25	古茶 歩	平成29	渡邊 英之	昭和55	八尾 正孝	平成29	佐藤 馨	昭和62	齋藤 祐次
------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	------	------	-------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	-------	------	------	------	-------

平成29年11月から平成30年3月まで（受領日順）

永年会費を納入されている方にも、封入作業の都合で、会費の振込用紙が同封されていますが、ご了承ください。

面の人間と話すには声を大きくせざるを得ないといえ、「健康は声のデカさに比例する」も真理ではないかと、特に根拠なきことながら、改めて考えた次第です。

一次会の後、ひととき冷え込んだ師走の夜をもとめず、四谷三丁目界隈に繰り出した者も少なからず。誰のネーミングか、いざ知らず、全員、「後期高齢」というセクスのない呼称のついた世代に入りますが、それを吹き飛ばすほど元気だったことを報告しておきます。ちなみに当夜の参加者16人は、次の通りです。順不同です。（瀧本喬）

山田雅康／杉山紘千佳／赤石浩／重武茂任／岡本隆雄／田中永二／齋藤邦雄／林昭策／郷古仁史／小谷野真人／大森猛／浅倉政行／伊藤邦正／木村弘昭／平井功／瀧本喬



昭和39年卒 〈39会〉同期会 54年ぶりの再会ハワイからも

平成29年11月27日に、昭和39年卒同期会〈39会〉を開催しました。

出席者は井戸、宇、鶴殿、玉栄、角田、丹羽、平山、吉岡、照井の計9名。

場所は角田君の懇意の田町の美味しい魚料理の店「湯浅」。39会は年2回集まっていたが、これは長年幹事を務めていた川瀬君の貢献が大きかったのですが、惜しくも昨年急死されて、宇君・角田君の幹事となり忘年会を兼ねた39会を開催しております。

今回はハワイから玉栄君が初めて参加してくれました。海原会の海外便りでコンタクトが取れました。海城を卒業して即米國に渡ったので卒業以来54年振りの再会となりました。

39会は年2回のゴルフを楽しんでおり、海原会のゴルフ会に積極的に参加して今年は吉岡君が準優勝、2年前には鶴殿君が優勝と好成績を上げています。来年も元気で集まれるように再会を約して散会しました。

（照井耕之助）



昭和41年中学卒 同期会 卒業50周年の企画募集

3月17日、今年も20名が新宿文化センターに集まりました。初登場は、いまだ現役で変わらぬダンディ男の池田健一君、福祉事業で頑張る生真面目な須永正君、ホンダを引退した市瀬一寛君の3名。市瀬君はホンダ時代にアコード、プレリウド、NSXなどのエクステリアデザイナーとして大活躍。羽田昶先生はまもなく79歳ですが、お元気に能・狂言・歌舞伎などの講座を持たれる現役です。来年は高校卒業50周年。企画を募集中。

seiga_takao@outlook.com まじ連絡下さい。

（千賀孝雄）



昭和62年卒 同期会 今年は質実剛健な会に

3月18日（日）に昭和62年卒の同期会を開催しました。



開催しました。1次会を海城学園カフェテリア、2次会を駅前の鳥良で開催。昨年の卒業30周年では大掛かりに催したので、今年はメリハリをつけて質実剛健な会としました。1次会には6組担任の中村先生が顔を出してくださいました。私たちにとても最若手という印象だった中村先生もすっかり重鎮に。思えば10クラスあった私たちの学年で担任をしていた先生で今も在職されているのは中村先生だけになってしまいました。質実剛健過ぎて1次会の酒があつという間に無くなってしまう、早々に2次会の会場へ。2次会からの参加者は既に盛り上がりつつある状況を見て集合時間を間違えたかと驚くほど。1次会・2次会への参加者を合わせて32名が集まりました。奇しくも当日は海城の卒業式。31学年下が単立つ日に我々は参集したことになります。時は過ぎて、来年度はどうとうみんな50才。でも、来年も同期会やります！

（国井信男）



平成2年卒 クラス会 昭和から平成経験世代

去る2月18日（土）、蓮見昌幸くん幹事のもと、6年10組担任の茂木先生をお招きして平成時代最後のクラス会を開催しました。

ちょうど30年前、高校2年の冬休み明けの時期に時代が昭和から平成へと変わりました。あの当時の賑やかさをそのままに楽しいクラス会を過ごすことができました。このクラス会で取り決めている「茂木先生による次回幹事のご指名制度」。この制度もすっかり根付き、毎回、スリリングな締めめ場になっています。

そんな次回のクラス会の幹事は、柏崎くんに決まりました。今回は2020年に開催。多くのクラスメイトをお誘いできるよう、来年から各方面に連絡を回してみようとした。それでは2年後、また先生も生徒たちも、元気な姿でお会いしましょう！

（樵 裕介）

平成3年卒 同期会 同期の開店祝いを兼ねる

昭和60年4月に海城中学に入学し、1年3組だったメンバーを中心に担任の平山先生を囲んで同窓会を開き、旧交を温めました。会場は、川井啓志君がオーナーとして青山にオープンした「エルミタージュ」です。こちらのオープンのお祝いもかねて同期が集



まりました。お店は青山学院大学西門前にあり、ランチ・ディナー・バーと様々なシチュエーションで利用できる素敵な「和ビストロ」です。

(写真左から) 常安健介・齋藤貴加年・塩田顕一郎・川井啓志・木村泰史・江畑賢一・平山教頭・菊池秀樹・山田武・山門篤史・粕谷厚

平成14年卒 同期会

毎年1月開催です

1月20日(土)に毎年恒例の学年同窓会を母校カフェテリアで開催しました。今年は那須高原海城での勤務を終えられた茂木先生に久々にお越しいただきました。ま



た、福島先生からは昨今の教育現場の変化についてお話を伺いました。同窓生の出席者も例年と比べて多く、皆さんからの近況報告は非常に興味深いものでした。話をする中で、実は同じ仕事に関わっていることが分かったり、今後の協業に繋がりそうな話が出たりと、第一線で活躍される皆さんが集まると、思わぬ収穫がありますね。

学年同窓会は、今後も毎年1月に開催予定です。在学時にはあまり話したことがなかった人とも意外と話が弾むものなので、是非ご参加ください！

案内の葉書きやメールが届いていない方は、kaijo2002@googlegroups.com までご連絡ください。また、Facebookに「海城2002年卒」というグループがありますので、是非ご参加ください。(矢野祐規)

平成26年卒 同期会

約40人が参集

3月11日にカフェテリアにて121代(平成26年卒)同窓会が開催されました。121代は高校入試がなくなくなった代であり、卒業生も260人ほどしかいませんが、先生を含め40人ほどが集まり和気藹々とした時間を過ごしました。(村野元紀)



地域海原会

北総海原会

会話が弾む新年会

北総地域の仲間が集う海原会は1月28日恒例の新年会をひらいた。前年同様、JR津田沼の飲み放題食い放題「やるき茶屋」で行われた。ところが、土壇場でペタン幹



事の杉山君がインフルエンザでダウン。その他不参加者が出てガッカリ！今年は去年より多いと思ったのに。それでも「海城」を背中に刻み、総勢11人で時を忘れることができた。中に珍しい若手の仲間が来てくれた。H6卒の関口陽介さん。評価の高い八千代松陰学園の先生が来てくれて感謝。宴会も2列の座卓を1列にして、肩を寄せ合い囲むように乾杯音頭で始まった。みんな、それぞれ群れを作ってお喋りで盛り上がった。考えてみれば、打ち解けて会話を楽しまば力騒ぎをすることは減多にない。いいもんだ。それに回を重ねると、お互いの心が解け和気あいあいになった。さて、飲み放題食い放題だから、次から次へと料理が出てくるので、座卓がいっぱい慌てて食べる始末。宴会は尽きせぬ泉の如く、会話が弾む新年会になった。時がたつのを忘れ、辛うじて安藤さんのハモニカで校歌を合唱でお開きになった。ありがとうございました。

湘南海原会

新メンバー参加で第43回例会

平成29年11月24日、JR茅ヶ崎駅ビルの「快飛び」で第43回例会を開催しました。当日は91歳で昭和19年海城中学を卒業された福田政司大先輩を始め8名が参加しました。今回は久しぶりの新人？として同期37年卒の花島光男さん、上野梅男さんが参加されたため、福田大先輩が湘南海原会発足の経緯の説明があり、思いを新たにしました。福田先輩のお話では海原会の分会的に各種の集まりがありますが地域を冠



した海原会の集まりは他に例を見ないと言います。

またメンバーも昭和19年卒と昭和37年卒が最年少という年令の幅は特異な例と思います。例によって先輩方の包容力により年齢差を感じない和気あいあいの集いは近況報告、趣味の話、まして戦時中の学校の様子等の興味津々の話に2時間もあっという間に過ぎました。湘南海原会は5月と11月の年2回の例会を茅ヶ崎で行っています。一時は30余名の会員を擁していましたが残念ながら大先輩の方々が物故されて現在は14名となりました。近郷近在の方のみならず多くの方々の参加をお待ちいたします。同期の鷺田さんなどは埼玉県の新座市からはせ参じて来ています。茅ヶ崎市在住の徳光和夫・海原会会長もご都合が付いたときは参加を頂いています。次回5月25日の元氣な再会を約して散会しました。

(昭和37年卒 佐藤誠二)

大宮浦和地区海原会発足へ

昭和51年卒が中心に準備会

平成29年12月30日に昭和51年卒の定例忘年会がありました。その席上で、大宮浦和地区の海城OBで親睦を深めていきたいとの声が上がリ、松山雅美さん(昭和51年卒)を中心とした大宮海原会の結成を準備することとなりました。

大宮浦和地区では、会報「海原」45号のグルムコーナーでも紹介された渡辺靖さん(昭和51年卒)の経営する居酒屋「斗乃蔵」が北浦和にあり、集い場所もバッチリ。

埼玉県は海城とのアクセスが良いため卒業生が多い地域です。大宮海原会に関する情報が入りましたら、紹介していきたいと思っています。なお、埼玉には他に川口で在住もしくは勤務している方たちの集まり、川口海原会があります。

(広報委員会)

分科会報告

4分科会 合同新年会

1月20日(土)高田馬場FLATTORIAにおきまして、業種別海原会4団体の合同新年会を開催しました。4団体とは弁護士・税理士・公認会計士などが作る海原士業会と医師・歯科医師・病院経営などの関係者で構成する海原医業会、マスコミ・芸能・著述関係の海原メディア会、政界・官僚関係者の海志会です。会報「海原」を見て今回から参加、というメンバーも多く、あちこちでは名刺交換。異業種交流会の様相を呈していますが、「うわ、同じ先生が担任だーおつかないかな」という声も聞かれました。この普通同窓会みたいな話まであり、いつもの硬軟織り交ぜた会となりました。昨年の合同新年会の出合いをきっかけに、仕事が広がったという方もいらっしゃいました。今年の合同新年会は21才から70才まで。



でのOBで、平成卒の30〜40代を中心としたメンバーでした。現状でも十分にフレッシュだと思のですが、ある業種の会長は「20代を取り込んで勢いを増していきたい」と息を巻いていました。来年をどうご期待です。

(広報委員会)

「海原メディア会」第6回総会を開催

1月20日(土)海原メディア会総会を開催しました。今回総会は、業種別合同新年会の開催日に合わせて例年より早めの総会開催としたから、若干参加者は少なかつたものの、若手の参加者が増えて、和やかな総会となりました。昨年度は海城学年創立125周年記念誌の制作を終え、今年度より新たなテーマの検討に入ります。学園のブランドイメージ向上に資するイベントなど、ご意見を広く募集いたしますので、海原メディア会に興味のある方、ぜひお集まりください。

(昭和62年卒 松長哲聖)



OB会だより

鉄道研究会OB会

創部50周年の記念イベント検討

毎年恒例の鉄道研究会OB会の新年大会が平成30年2月10日(土)に開催されました。



上は昭和55年卒から、下は平成25年卒まで、24名の方が参加しました。(近年鉄研ではなかった方の割合が増えている気が！)。皆さまに参加頂けることが、会の存在意義のバロメーターなどと思いつつ……。実は昭和43年の創部から数えて、50周年でもある本年。何か貸切イベントなどと思いつつ、中核の学年が20代後半〜30代後半となっており、ご案内できるかはまだ未定です。引き続き、OB会では鉄研OBや鉄道に興味のある海城OBの方の参加を、お待ちしております。随時下記までお問い合わせ下さいませ。

海城鉄研OB会幹事MLメーリングリスト info_kajotekkenOB@googlegroups.com

(平成15年卒 間多洋彰)

野球部OB会

ソフトボール大会と新年会

平成30年1月8日に、海城学園校庭におきまして、野球部OB会員・保護者・現役野球部員によるソフトボール大会が行われました。今年も多くのOBが現役生に負けじと白球を追いかけてました。大学・20代の若手は海城生を凌ぐ実力者多数。30代以上も経験にものを言わせた好プレイを連発しました。ソフトボール大会の終了後、OBと保護者はカフェテリアに場所を移し新年会を開催しました。OBの近況報告では、新成人となった若手から、転勤でしばしの別れが決まった人まで、様々な人間模様が語られました。



ラグビー部OB会総会

部復活の作戦会議に花を咲かせる

2017年12月9日(土)に海城高校ラグビー部OB会総会を開催しました。総会前の懇親会には15名がタッチラグビーに参

加、重い身体をひきずりながら芝生のグラウンドで汗を流した後、総会会場となった教室へ移動。数十年前の懐かしい教室で故草野先生へ黙祷を捧げました。総会終了後には日本海庄や新大久保店に25名が集まり、海城高校ラグビー部が復活するための作戦会議に花を咲かせました。海城学園現役の皆さんでラグビーに興味のある方、OB会が全力でサポートいたします。海城高校ラグビー部OB会への連絡をお待ちしております！

(昭和62年卒 松長哲聖)



アメフト部 一期生会

創部時の話で盛り上がる

3月17日(土)に海城高校アメリカン・フットボール部の一期生の同期会を東京駅のある酒場で開催しました。この同期会は3ヶ月に一回くらいの割合で開催しています。今回は二期生の1名も加わった同期会となりました。

皆さんはいつ海城高校にアメリカン・フットボールがestablishしたかご存知でしょうか？ 実は今から40年前、中井猛夫(リ

バーサイド・フットボールリーグ、フライングレディー所屬)が発起人となり、当時体育主任であった故・桑野貞勝先生に顧問になつていただき、同好会という形で設立、又同好会設立にご尽力くださった金澤好夫氏(海城高校卒・明治大学アメリカン・フットボール部OB)に指導していただきました。設立当時のメンバーは15名くらいだったと記憶しており、ツープラトンが組めないような状況。又、実績のない同好会故にグラウンドの使用が認められず、近くの公園で練習するというスタートでした。それでもフットボールが好きな連中、フットボールに興味がある連中が集まって、毎日、日が暮れるまで練習を積み重ね、とうとう念願の試合まで漕ぎ着けました。海城高校アメリカン・フットボール部の初戦は学園祭での招待試合、相手は桐朋学園でした。(写真の紺が海城高校土砂降りの中での試合でしたが、全員が日頃の成果を発揮。結果は残念ながら初戦勝利とはならず、6・18での敗戦。この桐朋学園とはその後2試合を行い、2試合目はドロー、3試合目には勝利をもぎ取りました。卒業後は日本体育大学や青山学院などで活躍した奴もいます。

今回の同期会でもその時の話で盛り上



がり、あのブロックは良かった、あのパスはボールの縫い目のはつきりと見えるくらい遅かった等など。ある奴が「お前、何歳になった？」と聞けば、「同期だから同じ59歳でしょ」と爆笑。そうですこの一期会全員が同い年、毎年1歳ずつ平均年齢が上がつていく会です。出来ればこの同期会を一期生に留まらずにもっと広げていきたい、また、海城高校アメリカン・フットボール部のOBとして、現役のために何か出来ることがあれば協力させてもらいたいというのが一期生の思いです。海城高校アメリカン・フットボール出身では非、この会に参加したいという方がいましたら、中井猛夫 bsai904@gmail.com まで連絡をお願いします。

(昭和52年卒 中井猛夫)



バドミントン部

OB現役の合同合宿

皆さん、はじめまして。平成19年(2007年)卒バドミントン部元主将の床波と申します。先日、伊豆稲取で行われた海城中学・高校バドミントン部合宿(3月26日〜29日伊豆稲取)に日帰りでお邪魔させていただきました。ここ数年は3月下旬(春休みの期間)に伊豆にて行われており、後輩OBや同期(田口、谷津、野口)と共に、可能な範囲で駆けつけています。

全体でフットワークを行った後、「サーキット」と呼ばれるダッシュ練。さらにコートに分けてレベル毎の別練習に移ります。夜は、練習の続きや現役とOBのゲーム練、生徒とのミーティング&練習日誌添削。私自

身、主役の生徒が一生懸命打ち込む姿に刺激を受け、何かサポートできることがないかと毎年試行錯誤しています。今年は、一方的にOBからアドバイスをするのではなく、「君は、どこを直したら良いと思う? どうしたい?」といった対話を多く取り入れ、より一層自ら考えて練習に取り組んでもらえるようサポートさせていただきました。

今年は途中参加・途中抜けも含めるとなんと総勢14名ものOBが合宿に駆けつけてくれました。年代問わず、これからでもできる範囲でOBが行ける時に現役生の支援をしてあげる、そんな緩いつながりが続くといいなという想いと共に、締め言葉とさせていただきます。こちらをお読みの元バドミントン部でご支援いただけるという方は、顧問の先生方、または床波(poc@yaho.co.jp)までお気軽にご連絡ください。



訃報

謹んでご冥福を お祈り申し上げます。

昭和62	昭和58	昭和51	昭和50	昭和49	昭和46	昭和43	昭和40	昭和38	昭和36	昭和36	昭和34	昭和32	昭和29	昭和27	昭和27	昭和27	昭和27	昭和26	昭和26	昭和25	昭和25	昭和25	昭和23	昭和23	昭和20	昭和20	昭和19	昭和18	昭和16	昭和14	昭和13	昭和13	昭和4	
島野	石橋	石幡	持斎	橋本	中林	青山	橋本	古畑	川岸	甘利	野木	中山	渡辺	森	岩瀬	清水	糟谷	菅井	小川	尾形	船橋	田中	三浦	原田	深町	星合	五十幡	山田	川本	奥村	田村	安達	久世	舟川
公利	啓吾	裕之	繁男	淳	秀夫	洋一	昭治	正一	浩	久行	宏悦	良治	勝明	榮	八郎	達夫	孟	金秀	晴望	隆康	茂	義宏	三児	優	幸男	達郎	徹	博	壽郎	博	吉次	武彦	勝巳	博
29・3・28	28・9・4		28・8・17	28・1・21	27	27・1・9	29・2・3	27・2・10	28・7・28		30・3・4	20・5・6	27・10		29・1・20	26・4・18	28・5		29・6	29・1・31	29・5	29・6・11	29・12・8	28・10・3	26・6	29・6・12		29・10・31	28・12・23	20	29・7・15	29	27・12・28	

2018年4月12日 現在

合格おめでとうございます

国公立大学

	学部	総数	医	現役	医	卒業生	医
東京大学 合計 48 (現役41, 卒業生7) 推薦 1含む	文科一類	6		5		1	
	文科二類	14		12		2	
	文科三類	5		4		1	
	理科一類	14		12		2	
	理科二類	9		8		1	
	理科三類	0		0		0	
京都大学 合計 11 (現役8, 卒業生3) 特色 1含む	文	0		0		0	
	法	3		3		0	
	経済	1		1		0	
	教育	0		0		0	
	総合人間	0		0		0	
	理	2		0		2	
	工	3		2		1	
	医	1		1		0	
	薬	0		0		0	
一橋大学 合計 16 (現役12, 卒業生4) 推薦 1含む	農	1		1		0	
	法	4		3		1	
	経済	5		3		2	
東京工業大学 合計 10 (現役6, 卒業生4) AO 5含む	商	7		6		1	
	社会	0		0		0	
	第1類	0		0		0	
	第2類	2		1		1	
	第3類	1		1		0	
	第4類	2		1		1	
	第5類	3		2		1	
北海道大	第6類	1		0		1	
	第7類	1		1		0	
		9	1	5	1	4	
	岩手大	1		1		0	
	東北大	16	4	14	3	2	1
	秋田大	1	1	1	1	0	
	山形大	2	1	1		1	1
茨城大	1		0		1		
筑波大	8	6	6	4	2	2	
群馬大	4	3	2	2	2	1	
埼玉大	2		1		1		
千葉大	15	7	7	3	8	4	
電気通信大	2		1		1		
東京医歯大	6	5	4	3	2	2	
東京学芸大	1		1		0		
東京農工大	2		1		1		
横浜国立大	4		4		0		
新潟大	2	1	2	1	0		
富山大	1		0		1		
金沢大	1		0		1		
信州大	1	1	1	1	0		
岐阜大	1	1	1	1	0		
静岡大	1		1		0		
浜松医大	1	1	1	1	0		
名古屋大	1		1		0		
大阪大	1		0		1		
広島大	1		0		1		
九州大	2		0		2		
福島県立医大	3	3	2	2	1	1	
首都大東京	1		0		1		
名古屋市立大	1	1	0		1	1	
兵庫県立大	1		0		1		
防衛医科大学校	6	6	3	3	3	3	
防衛大学校	4		3		1		
国公立大学・大学校総数		188	42	131	26	57	16

※「医」は医学部医学科の合格者数(東大理Ⅲは除く)

海外の大学

		総数	医	現役	医	卒業生	医
トロント大		1		1		0	

30年度大学入試結果概観

學習指導部長 森 昭大

今年3月の卒業生（29年度高3）は中学からの入学生のみとなった5年目の学年で、帰国生入試が始まって2年目の学年です。卒業生は320名で、文系は125名が3クラス、理系が195名5クラスでした。昨年度とほとんど変わりません。海城は進学校では珍しく、文系の比率が大きく、全体としては進学志向のバランスが良

い学校です。

現役進学率は61・3%で昨年度とほぼ同じでした。入学定員管理が厳しくなっている昨今、私大での合格者数はかなり絞られています。そのことが広く知られているため安全志向で実質倍率が高くなっていると考えられます。それでも本校からは早慶をはじめ多くの私大に合格する生徒が増えました。

今年度のセンター試験では、全国的に見れば文理ともに得点率8割以上の上位層が減ったようです。しかし、本校では文系の750点以上、理系の800点以上の人

さて、大学別の合格者数は別表の通りです。

東京大学の合格者は現役41名、既卒7名と昨年に続いて健闘しました。現役で文系21名の合格は実は過去最高です。推薦入試では今年も理学部に、国際地学オリンピックで銀メダルを獲得した越田勇氣君が合格し

	学部	総数	医	現役	医	卒業生	医
早稲田大学 合計 161 (現役108, 卒業生53) AO1, 推薦4含む	文	7		5		2	
	文化構想	8		6		2	
	法	25		19		6	
	政治経済	27		18		9	
	商	18		12		6	
	社会科学	9		3		6	
	教育	7		3		4	
	人間科学	7		3		4	
	国際教養	5		3		2	
	基幹理工	18		11		7	
	創造理工	9		7		2	
	先進理工	21		18		3	
スポーツ	0		0		0		
慶應義塾大学 合計 129 (現役97, 卒業生32) 推薦2含む	文	7		4		3	
	法	12		10		2	
	総合政策	0		0		0	
	経済	26		23		3	
	商	31		24		7	
	理工	36		25		11	
	環境情報	2		2		0	
	医	5	5	3	3	2	2
薬	10		6		4		
岩手医大		1	1	0		1	1
東北医薬大		1	1	0		1	1
国際医療福祉大		5	5	1	1	4	4
獨協医大		1	1	0		1	1
埼玉医大		2	2	0		2	2
城西大		1		0		1	
獨協大		1		0		1	
文教大		1		0		1	
明海大		1		0		1	
青山学院大		6		2		4	
北里大		3	1	3	1	0	
杏林大		6	6	2	2	4	4
工学院大		1		0		1	
駒澤大		2		0		2	
芝浦工大		20		7		13	
順天堂大		20	20	16	16	4	4
上智大		21		14		7	
昭和大		16	13	9	7	7	6
成蹊大		2		1		1	
成城大		1		1		0	
玉川大		3		3		0	
中央大		30		15		15	
帝京大		2	1	1	1	1	1
東海大		2	1	1	1	1	
東京医大		9	9	2	2	7	7
東京工科大		1		0		1	
東京慈恵会医大		12	12	6	6	6	6
東京電機大		3		0		3	
東京農大		6		5		1	
東京理大		115		58		57	
東邦大		5	1	0		5	1
東洋大		6		0		6	
日本大		20	7	1	1	19	6
日本医大		8	8	5	5	3	3
日本歯大		1		0		1	
日本獣医生命科学大		2		2		0	
法政大		12		3		9	
星薬大		4		3		1	
武蔵大		1		0		1	
東京都市大		3		0		3	
武蔵野大		1		1		0	
明治大		50		21		29	
明治学院大		1		0		1	
明治薬大		2		1		1	
立教大		8		4		4	
麻布大		1		0		1	
神奈川大		2		1		1	
産業能率大		2		0		2	
マリアンナ医大		1	1	0		1	1
横浜薬大		1		0		1	
同志社大		2		0		2	
立命館大		3		0		3	
大阪医大		1	1	0		1	1
関西大		1		0		1	
近畿大		1		1		0	
産業医大		1	1	0		1	1
長崎総合科学大		1		1		0	
私立大学総数		726	97	396	46	330	51

本校からは3年連続の合格の快挙となりました。今年度は現浪合わせて11名が合格しました。

また、特筆すべきものの一つは、後期入試での合格者が非常に多かったことです。国公立大の後期入試の募集定員は縮小傾向にあるにもかかわらず、現役17名が後期で合格を果たしました。卒業式直前の最後まで気力を保ち結果を出した生徒たちには頭が下がります。

もう一つは東北大の合格者が多かったことでしょう。東北大には現役14名、既卒2名が合格しました。そのほとんどが理學・工学系で、理工系にも強い関心を持って進学する生徒が少なくないことを証明した形です。多様性を認める本校に相応しく、嬉しく思います。

国公立医学部医学科は、全国的に志願者数は減っているものの、センター85%の得点がないと合格は難しいです。昨年と同様、結果的に首都

圏でセンタ―90%。地方でも85%が必要条件という相変わらずの難関でした。その狭き門に対し、現役23名、既卒13名の生徒が見事合格を果たしました。

32年度（≡2020年度）には大学入学共通テストが始まります。現高校1年生が初めて受験します。入試の形態は変わっても、試されるものは海城で学んだものであるはず。形式の変化に惑わされず、われわれ教員は伝えるべきことをしっかり伝えていきたいと思ひます。

同封の振込用紙について

同封されている振込用紙は年度会費と永年会費を支払うためのものです。総会参加費やグッズの費用の支払いには使えません。

【会報バックナンバー閲覧パスワード】

ホームページの活動レポートから会報のバックナンバーの閲覧ができます。閲覧にはパスワードを設定しております。ユーザー名はkaihouです。パスワードは2018年5月14日までは「San9obaba」2018年5月15日からは「bye:6ttE」になります。

日向大祐さんマジックライブ

6月12日から6月17日まで、上野ストアハウスにて日向大祐さん(H09)のシアトリカルマジックライブが公演されます。

シアトリカルマジックライブ vol.7
POP -piece of paper-

【日時】6月12日(火)~6月17日(日)(全11回公演)

【場所】上野ストアハウス(JR・地下鉄 上野駅 徒歩8分)

【詳細・お申し込み】<https://www.t-m-p.info/stage/>



Hermitage K 和 Bistro & Bar
青山は学生の街ではあるが、昼からシャンパンが似合う。バーニャカウダは白味噌

Hermitage K (エルミタージュK)
渋谷区渋谷2-2-5 クルスビル1F
TEL 03(6434)1126
営業時間 11:30~15:00・18:00~23:30
年中無休 (国井信男 記)

青山学院大学を経て富士銀行(現みずほ銀行)へ。高田馬場支店に着任したところ、海城学園の担当を命じられて縁の深さに驚いた。その後、外資系投資ファンドに転職。そこでは不動産の他に飲食も扱っていた。飲食店の設立・ブランディング・広報といったスキルを磨く中で、目の前で「ありがと



う」の言葉が返ってくる飲食の魅力に気付いた。会社を籍を置きつつ、不動産会社を興し、夢への基盤作りをすること1年半、満を持して完全独立し、昨夏にエルミタージュKをオープンさせた。店のジャンルは和ビストロ。

★特典★ 初回に限り、平成30年5月1日~6月30日までの来店時に「会報見たよ」を合言葉で4名様以上でボトルワインまたはスパークリングプレゼント。詳しくはお電話にてご確認ください。

自薦他薦、海城OBのお店情報をお寄せください。
海腹グルメ 10 青山
エルミタージュ
Hermitage K 和 Bistro & Bar
青山学院大学の西門前。青山通りを一本入ると街は大人びた静けさを取り戻す。そこにあるのがエルミタージュK。オーナーとして店に立つのが川井啓志さん(平3卒)だ。海城時代は中学は剣道、高校はテニスに打ち込んだ。当時は校舎が建て替えられている時期で、プレハブの校舎は不便が多かった。「でも、男子校のいい部分をたくさん感じました。みんなで馬鹿になれるあの瞬間がたまらなかった」。

仕立てでさりげなく和を主張。味はもちろん、インスタ映えにも心を砕く。イチゴのシーズンに出すというリキュールはスゴいらしい。「とにかく初心はおもてなし。喜んでもらえるものは何か、を常に考えています」。



海原会グッズの販売
お待たせしました！ 定番のTシャツ・ポロシャツ・帽子に加えてパーカーが新登場

海原会グッズはFAX、ホームページにて注文をお受けしています。氏名・送付先・電話番号をご希望のグッズの品番・サイズ・個数をご連絡ください。お支払いはグッズに同梱した案内に沿ってお支払いください。

※会報に同封されている振込用紙はグッズ代金の支払いには使用しないでください。

TEL: <http://www.unabarakai.jp>
FAX: 03-62333-9641

※ホームページはトップページ右上の「海原会へのお問い合わせ」ご連絡より

服のサイズ目安
M 170センチぐらいまで
L 175センチぐらいまで
XL 175センチ以上



C1 C2 キャップ 青 2色 価格 2,500円
C3 キャップ 刺繍 価格 2,600円



A1



A2



A3



B1

A1 Tシャツ

A2 ポロシャツ

A3 ポロシャツ旧校章

B1 パーカー

価格 1,100円
サイズ L XL
価格 2,400円
サイズ M L XL
価格 2,400円
サイズ M L XL
価格 4,000円
サイズ M L XL

編集担当

山本満男 (S27)
片山忠美 (S28)
森山昭洋 (S41)
小西洋也 (S41)
国井信男 (S62)
岡本浩太郎 (H02)
高橋有仁 (H05)

◎邦楽の世界に指揮者や演出家は少ない。リハーサルもない。個々それぞれがその場で呼吸を合わせる世界だ。海城人の細井さんに「ミニマル世界と違う大人の文化を観た。(小西)

編集後記

◎ロッテの工場跡が更地になり、新大久保駅が大改装。そりゃそうだ。平成も終わるのだから。総会でダイナミックに変化する新大久保をご覧ください。(国井)

◎「脱皮することのできない蛇は死ぬ」(二丁三)。まだ植木会長になっていないS28年「海城新聞」に載っていた。あれから60数年。人間は生きてる間、何度でも脱皮することができると感じる今日この頃です。(山本)

◎本号から編集委員にさせていただきました。右も左もわからぬままにいくのがやうと。この歳で新しい仕事に携われる幸に感謝。(森山)

◎「かろやかな声の響きし座談会」をこの城にひな祭り来る(高橋)

◎昭和28年卒の我学年は、同期会を「解散する」ということに決まりました。高年齢がこんなところにもあらわれるとは…。いろいろなことがありますが、淋しいことです。(片山)

◎SNSを介した旧友との交流は、今後多少規制が強化されても衰えないでしょう。数多く生まれる小さなコミュニティーの「ハブ」に同窓会がなれないか検討しています。(岡本)